

教 師 ノ ー ト

日付	2021年 8月 8日
単元	基本的な教理・4
テーマ	教会ってすてき・2
タイトル	教会で助け合うことのすばらしさ
テキスト	Iコリント12:12-27
参照箇所	Iコリント12:21-31、エペソ1:22-23、4:11-12、ヨハネ15:12
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	Iコリント12:27 or ヨハネ15:12
AG 日曜学校教案参照箇所	
□導入	
	わたしたちの体は、頭の考えたとおりに動きますよね。なわとびでも、みんなで協力すると上手くできます。イエス様は教会を助け合うようにつくられています
	☞今回は教会で助け合うことのすばらしさです。「教会のかしらはイエス様」と聖書が語るように、教会はイエス様の願いを進める共同体です。そしてイエス様は、私たちが「互いに愛し合うこと」を願っておられます(ヨハネ15:12)。今回は互いに愛し合い、助け合う“教会にとって最も大切なこと”を学びます。このことを理屈として学ぶだけでなく、子どもたちが教会の実生活として学ぶことができるように、教師は留意しましょう。
□ポイント1 ちがう人が一つになれるってすてきです	
	生まれた国がちがっても、国籍や皮膚の色や言葉がちがっても、クリスチャン同士は、協力できます。そして違いがあっても不思議な一体感を持つことができます。また国の指導者であっても、普通の市民であっても「兄弟姉妹」として関わるができるのです。なぜなら、私たちは天国に国籍を持つ天国人ですし、天国では神様のもとで、国籍も言葉も地位も越えて神の家族として生活するようになるからです。このことは素晴らしいことです。
	☞外国から日本にやってきたクリスチャンは、日本でも毎週教会で礼拝します。それは国が違っても、教会はイエス様の身体であり、集まる時に神様の恵みを体験できるからです。
□ポイント2 みんなに役割があるってすてきです	
	教会のかしらはイエス様です。そして私たちはイエス様のからだの一部分であり、私たちは共同体としてつながっているのです。足や耳が「からだに属さない」といっても不可能なように、私たちはイエス様のからだにそれぞれ属しているのです。
	神様が御心によって、からだにそれぞれの器官を作られたように、神様は私たちの個性や能力をつくり、教会に集めてくださったのです。話すのが上手な人、手先の器用な人、やさしい心を持っている人・・・みんな神様から特別な能力を与えられているのです。ですから自分の能力を人と比べて、自慢をしたり落ち込む必要はありません。あなたにはあなたしかできない特別な力(役割)が与えられているのですから、それを発見し、用いれば良いのです。
	☞最近、「ナンバーワンではなくオンリーワン」という言葉をよく聞きます。しかしこれは「神様の作品として作られた」ということを理解してはじめて言うことができます。一人ひとりの力を認めて上げてください。子供たちの力を励ましてあげましょう。

□ポイント3 互いに助け合うってすてきです

「みんなに役割がある」ならば、みんなが大切な人たちです。イエス様にあって一人も必要のない人はいません。

たとえ私たちに弱いところがあっても大丈夫です。弱さがあるから私たちは助け合うことができるのです。弱さがあるからこそ、愛し合い、助け合う経験ができるのです。それによって私たちは神様の愛の素晴らしさを学びます。

また、私たちの能力は、誰かを助けるためのものです。自己満足ではなく、他の人のためにあなたの価値が発揮されます。

互いに助け合って、私たちは愛し合う教会になるのです。これこそがイエス様が最も願っておられることです。

☞教会学校でイベントをする時、いろいろな役割があります。受付・ゲーム係・お話しする先生・・・みんなのできることを一緒に協力する時に、良いイベントができるのです。

☞海外で働く宣教師がいますが、その宣教師を支えるたくさんの方がいるのです。献金を捧げる人、祈る人、応援に行く人・・・それぞれの役割をすることによって宣教の働きが前進するのです。

☞ I コリント 12:25「からだの中に分裂がなく」・・・コリント教会に存在する分派を意識した表現。歴史を通じて教会はいつも課題を抱えつつ、働きを進めているのです。

□結論 教会のかしらはイエス様、私たちは教会の一部です。いろいろな人と助け合って、神様の喜ばれる教会になるのです

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

同じ家族でも、一人ひとり違いますよね。教会や学校のお友達も、みんなそれぞれ違います。神様は一人一人を大切な存在として造られました。音楽のできる子、スポーツができる子、比べなくてもいいのです。みんなが協力して、自分の得意なことで他の人を助け合うことが神様の願いなのです。みんな役割が違います。神様は弱いところが大切だ、とおっしゃいますから、弱さがあっても大丈夫です。たがいに助け合って、神様が喜ばれる教会になりましょう。